

鶴 見 大 学

入試問題（縮刷版）

短 期 大 学 部

2025（令和 7）年度

2025(令和7)年度 入試問題(縮刷版) 目次

※未実施の入試問題は掲載していません。
※実際に受験があった科目のみ掲載しています。

短期大学部

総合型選抜

課題作文※

■保 育 科（1期 Aタイプ・Bタイプ）	1
■保 育 科（2期・3期）	2
■保 育 科（6期）	3
■歯科衛生科（1期）	3
■歯科衛生科（2期・3期）	4
■歯科衛生科（5期）	5

一般選抜（個別選抜型）
新入生特待奨学生選抜試験

国 語

■保育科・歯科衛生科 共通	6
解答例	7

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

保育科 課題

2024年9月16日実施
総合型選抜【1期Aタイプ】

試験時間：60分間
字数：600～800字

(次の課題について、作文を600～800字で作成してください。)

最近の子どもに関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、
それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

保育科 課題

2024年9月16日実施
総合型選抜【1期Bタイプ】

試験時間：60分間
字数：600～800字

(次の課題について、作文を600～800字で作成してください。)

最近の子どもに関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、
それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

保育科 課題

2024年10月6日実施
総合型選抜【2期】試験時間：60分間
字数：600～800字

(次の課題について、作文を600～800字で作成してください。)

最近の子どもに関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、
それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

保育科 課題

2024年11月17日実施
総合型選抜【3期】試験時間：60分間
字数：600～800字

(次の課題について、作文を600～800字で作成してください。)

最近の子どもに関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、
それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

保育科 課題

2025年3月12日実施
総合型選抜【6期】

試験時間：60分間
字数：600～800字

(次の課題について、作文を600～800字で作成してください。)

最近の子どもに関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、
それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

歯科衛生科 課題

2024年9月16日実施
総合型選抜【1期】

試験時間：60分間
字数：600字以内

歯科疾患と全身疾患の関連性について

600字以内で書きなさい。

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

歯科衛生科 課題

2024年10月6日実施
総合型選抜【2期】

試験時間：60分間
字数：600字以内

歯科疾患と全身疾患の関連性について
600字以内で書きなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

歯科衛生科 課題

2024年11月17日実施
総合型選抜【3期】

試験時間：60分間
字数：600字以内

歯科疾患と全身疾患の関連性について
600字以内で書きなさい。

1

2025(令和7)年度 入学試験問題

課題作文

歯科衛生科 課題

2025年2月1日実施
総合型選抜【5期】

試験時間：60分間
字数：600字以内

歯科疾患と全身疾患の関連性について

600字以内で書きなさい。

2025(令和7)年度 入学試験問題

国語

保育科・歯科衛生科

2025年2月1日実施
一般選抜(個別選拔型)
新入生特待奨学生選抜試験

注意事項

- 試験開始の指示があるまで、この問題冊子には手を触れないこと。
- 問題は、1～5ページに記載されている。
- 解答用紙の所定の欄に、志望学科名・受験番号・氏名を忘れずに記入すること。
- 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて試験監督者に知らせること。
- 試験時間は、60分間である。
- 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
- 試験終了の指示後、解答用紙を問題冊子の上に伏せて置くこと。
- この問題冊子は持ち帰らないこと。

2

問一

線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- 犠牲者をクヨウする。(2) 実験データからキノウした結論。
- 事実をキヤクシヨクする。(5) 友人の類みはムゲにできない。

(3) 島々にツウテイする習俗。

問二

線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 先達の教えに従う。(2) プロに比肩する能力。
- 訴求効果のある広告。(5) 大事業を企図する。

(3) 師の蘇陶を受ける。

問三

次の例文の——線部の品詞名をそれぞれ答えなさい。

『その日は、天気が悪(い)から、別の日に変更する』らしい。

問四

次の空欄に適切な語を漢字で埋めて成句を完成させなさい。

- (1) 蛇の□は蛇 (2) 他山の□ (3) 袖振り合うも□の縁
- (4) 人間万事塞翁が□ (5) 李下に□をたださず

問五

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

生まれてはじめて出会い、それなしには人となることができない、またひとたび身につけてしまえばそれから離れることのできない、このような根源のことばは、ふつう母から受けとるのであるから、「母のことば」、短く言って「母語」と呼ぶことにする。

「母語」ということばに私がとりわけこだわるのは、a 日本語にはいつの頃からか「母国語」ということばが作られて、それが専門の言語学者によってさえ不用意にくり返し用い続けられているからである。

3

母国語とは、母国のことば、すなわち国語に母のイメージを乗せた煽情的でいかわしい造語である。母語は、いかなる政治的環境からも切りはなし、ただひたすらに、ことばの伝え手である母と受け手である子供との関係でとらえたところに、Aこの語の存在意義がある。母語にとって、それがあつた国家に属しているか否かは関係がないのに、母国語すなわち母国のことばは、政治以前の関係である母にではなく国家にむすびついている。そのために、これを区別せずにいつでも「母国語」を用いていると、次のような奇妙なことが生ずる。

あるとき新聞が、「単一民族国家」と思い込まれている我が国において、その例外をなすアイヌ人やオロツコ人が存在することをあらためて思い起こさせてくれる、次のような記事をのせた。

(沖縄でおこなわれた教研全国集会のこと)「平和と民族」分科会では、民族衣装に身を固めた北海道の少数民族ウイльта(オロツコ)の北川源太郎ことターヒニニニ「ゲンダーヌさんの母国語」による訴えが静かな波紋をひろげた。それは長年、民族差別の中で苦難の生活を通じてきたウイльтаの人たちが自らの手で、民族の誇りと文化を守ろうとする自立の宣言であり、それは同時に日本を単一民族国家としてきた日本人の意識の変革を迫るものでもあつた。

(朝日新聞、一九七八年二月四日)

私はここに報じられたゲンダーヌさんの行動はもちろんのこと、b それを支持して、ひろく世に知らせるために記事にした、この文章の書き手にも共感する。そもそもこういう記事は、①言語的少数者が置かれている状況にたいする深い理解なくしては書けないものである。②それだけに、「ゲンダーヌさんの母国語」にはめまいを感じるほどの当惑をおぼえたのである。

ゲンダーヌさんは北川源太郎という日本人の持ち主であるから、たぶん日本国籍の人であろう。だとすれば、ゲンダーヌさんの母国は日本で、その母国のことばは日本語であるから、オロツコ語のことを母国語と言ってしまったはずなのである。ゲンダーヌさんとのことばは、この「母国語」とはするどく対立するところの非母国語、非国語であるからこそ、ここにその訴えを報じる意義があつたのではないだろうか。ゲンダーヌさんが用いたことばは、国家とは対極にあつて、その国家によつて滅ぼされ、滅ぼされつづけてきた、かれ自身の生まれがらの固有のことばなのである。それを③母国語と呼ぶ矛盾が、こつてどゲンダーヌさんに共感を寄せる記者に気づかせず、またその記事を読んだはずの編集統括者にも気づかせず、さらに数百万の読者からもとりたてて疑問があらわれなかったことに、ことばとその話し手との関係に関する、日本人の平均的な理解度が

4

あらわれてはいないだろうか。c ことばはすべて国語であると考える日本人の考えかたに根深く宿っているこの盲点こそは、この記事がまさに指摘してきた、「日本を単一民族国家としてきた日本人の意識」をありのままに示していることばとして持っている。学校、役所、裁判所などにも、そのことばのための場所はあるがわけていない。d そのことばはどんなことがあつても母国語とはいえないのである。もしかして太古にあつたかもしれない、まぼろしの母国を思い描く以外には、

e こういうことばをどう呼べばいいのかわからない日本人からみて、ゲンダーヌさんとのことばは決して日本語の方言ではない、ましてや外国語でもない。「民族語」と呼んでみるのもいいかもしれないが、その人の所属しているグループが民族と呼ぶにふさわしい規模のものかどうかにも問題がある。その話す個人とことばとの関係を示すには、どうしても母語が最もふさわしいのである。母語は、国家という言語外の政治権力からも、文化という民族のプレスティージュからも自由である。そして何よりも、国家、民族、言語、この三つの項目のつながりを断ち切つて、言語を純粋に個人との関係でとらえる視点を提供してくれるのである。

以上のことを考えに入れたうえで、一つのことをはっきりさせておきたい。あることばへの愛着は、かならずしもフランスとか日本とか、朝鮮とかの国家への愛を伴う必要はないということだ。ゲンダーヌさんの話が美しく感動的なのは、その母語にとつての母国はなくとも、母語そのものを、それを話す人たちへの、ひとりだした強い孤独な愛を見せるからである。

④啄木が「ふるさとの⑤訴(なぐさ)なつかし停車場の人ごみの中にそのを隠(かく)きにゆく」とよんだ、そのなつかしいことばは国家のことばではなかった。国家の標準からはじきだされているだけに、そのなまじりはいとおしく、⑥なつかしさはいつそう深いものであつたのであろう。そのことは、方言の話し手にとつては説明ぬきですぐわかることである。

(田中克彦『ことばと国家』による。一部改変。)

【注】

オロツコ人：サハリンに居住する民族。季節的に移動しながら漁労・狩猟・トナカイ飼育を行う。ウイльтаの旧称。プレスティージュ：社会的な高い価値づけ。威信。名声。

啄木：石川啄木。岩手県出身の文学者。明治一九年(一八八六)生、明治四五年(一九一二)没。

5

問一 a e に入る適切な語を、それぞれ次の選択肢の中から選び、記号で書きなさい。

ア では イ すなわち ウ しかしながら エ だから オ じつは カ また

問二 線部①「言語的少数者が置かれている状況」を具体的に記した一文を探して、その始めの五字を書きなさい。

問三 線部②「それだけに……めまいを感じるほどの当惑をおぼえた」理由を説明しなさい。

問四 線部③「母国語と呼ぶ矛盾」について記者や編集統括者が気づかず、読者からも疑問があらわれなかったのはなぜか。その理由を本文から探し、解答欄に合わせて二十字以内で抜き出しなさい。

問五 線部④「啄木」の著作を次の選択肢から選び、記号で書きなさい。

ア 菅国 イ みだれ髪 ウ 沈黙 エ 一握の砂 オ 月に吠える

問六 線部⑤「訛」は啄木にとってどんなことばであると言えるか。最も適切な言葉を文中から探し、漢字二字で書きなさい。

問七 線部⑥「なつかしさはいっそう深いものであったのであろう」とあるが、それはなぜか。本文の内容に即して説明しなさい。

問八 線部 A「この語の存在意義」とは何か、最も重要な意義を説明した一文を探して、その始めの五字を書きなさい。

6

問九 この文章の内容に当てはまるものすべてを選び、記号で書きなさい。

ア 「母国語」という表現は事実との齟齬を生じさせるので、使用しない方が良く主張している。

イ 日本は「単一民族国家」であると思われているが、新聞記事の筆者はそれに一石を投じた。

ウ ゲンダーヌさんはオロッコ語を母国語にして民族の誇りと文化を守るために、集会で演説した。

エ ゲンダーヌさんの訴えを新聞が報じる意義は、彼らのこゝが母国語だと認められる点にある。

オ 大多数の日本国民にとって母語は母国語であるため、すべてのこゝがそうだと考えてしまう。

カ 母語への愛着は、その母語にとっての母国がないからこそ美しく感動的につながるのだと言える。

キ 啄木の心情を方言の話し手がわかるのは、方言の話し手は全てふるさとから上京しているから。

一般選抜（個別選抜型）・新入生特待奨学生選抜試験（国語）解答例

7

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九
問一 (1) 供養	(1) 連休調	(1) 道	問一 a オ b カ c イ d エ e ア	エ	母語	故郷のなまりは生まれて初めて啄木が身につけた母語で、純粋に個人と結ばれたことばであるから。	そ し て 何 よ	イ オ
(2) 帰納	(2) 名詞	(2) 石	問二 学 校 、 役 所					
(3) 通底	(3) 形容詞	(3) 他生						
(4) 脚色	(4) 助詞	(4) 馬						
(5) 無下	(5) 助動詞	(5) 冠						
問二 (1) せんだつ								
(2) ひけん								
(3) くんとう								
(4) そきゅう								
(5) きと								
問三 言語的少数者に対峙する深い理解をもつは、その記者が、オロッコ語のことを「母国語」と表現したから。								
問四								
あ こ と ば は す べ て 国 語 で								
る と 考 え る								
から。								